

■給食事業を新規に獲得するためには

行政が求めるポイント

- ・行政は、入札金額だけではなく、給食配送に品質を求めており、いかに行政に寄り添った改善を提案できるかがポイント（自治体と協力できればより望ましい）

特に注視すべき視点

- ・価格での比較検証にならない+ α の価値提供
 - ⇒学校内は児童がいるため、「安全に対する取組」は最大のアピール。また、給食は遅れることが許されないため、事故や故障へのプロならではの対策は評価が高い
- ・行政の求めるPainに対する定量的かつ具体的な情報の提供
 - ⇒デジタコによる安全指導、走行中の録画動画、アルコールチェック、車両点検の方法等、安全対策資料の可視化が有効
- ・継続的なパートナー関係の構築
 - ⇒他の自治体の教育委員会にも給食配送を実施している事をアピールすることで自治体から相談がくる → 仕様書の作成に加わる

料金交渉においては、特に価格のみの比較検証とにならない+ α の価値(安全)を提供できるかが、鍵となる = 比較優位性の構築